

# 第4回かもめ企画—みずきわだつ— エンゲキプロジェクト『セチュアンの善人』

主催：かもめ企画



公演『セチュアンの善人』を海の家にて上演

## 演劇を通して新潟の風景の魅力を新たに提示

新潟市民と全国各地の俳優、ミュージシャンとともに、一ヶ月程度の海の家での滞在、舞台の創作を行い、公演『セチュアンの善人』を海の家にて上演した。滞在稽古は、稽古場である海の家を解放して行っていたため、芸術祭に関心のない近隣住民へのアプローチがスムーズにでき交流も生まれ、レジデンススタイルでの創作の利点を活用することができた。

当企画の公演や芸術祭を目当てに、はじめて新潟を訪れた来場者も多く見受けられ、演劇を通して新潟の風景の魅力を新たに提示することができたと言えるだろう。未就学児や外国人の来場者も複数おり、幅広い層にアプローチすることができた。今回は、作品により海という「場」を活かすため、明るい時間に壁を開け放っての公演というはじめての試みを行ったところ、「波の音が物語に溶け込んでいて、この日、この場所、この時間でしか体験できない芝居と演奏。役者さんの

身体が雄弁で素敵でした」「海が見える解放的な舞台、生演奏バンドと合わせて、ここでなきゃ出来ない、観られないお芝居で、楽しかった」「壁が無くて波の音が聴こえる自然に近い環境の中で、作品が自然に調和して行く感覚はとても心地が良かった」など、作品と風景の調和に関する好意的な感想が多く見受けられた。公演当日に台風直撃の予報もあって集客数が目標に届かなかった点は残念だが、繁忙期以外の時期に新潟の浜辺に人を集め、演劇の魅力を発見してもらうという成果目標は達成された。4回目となる今回のかもめ企画では、これまで以上に、近隣店舗との連携や借景という形での作品への風景の活用など、新潟の「場」の力を借りて土地との関わりを見つめなおすという当初の目的を深く探究できたように思われ、大変意義のある企画だった。

●10月6日(土)～10月8日(月・祝) 公演『セチュアンの善人』（静浜亭）